

## 漫画考



眼科クリニック幸地 幸地 賢治

このコーナーの依頼文書にはためになる本の紹介という風に書かれているように感じたので、小生としてはいささか気が引ける思いである。が、漫画を紹介したい。特に愛読しているのは諸星大二郎の「孔子暗黒伝」(全2巻)である。たかが漫画されど漫画。何回読んだか分からない。

中国の少年・赤とインドの少年・アスラ(ストーリーでは赤は光、アスラは赤の陰の部分とされる。)を主人公にした物語である。古代の中国、インド、東南アジアを経て、日本へと至る訳だが、どうも琉球を辿った跡があるのも面白い。その部分を引用すると「天地のひらけし<sup>シル</sup>白の世より、この赤の世を<sup>アハイル</sup>・・・やがて<sup>オール</sup>青の世となり、黒の世となりて時果つるまで<sup>クル</sup>・・・」とあり、これは沖縄方言で表したものと分かる。さてストーリーは、孔子によって周王の墓墳の中から赤が発見される所から始まる。赤は孔子のもとで少年となるが老子によってインドに導かれ、自分の陰であるアスラと出会う。仏陀の入寂に立ち会った二人は仏陀によって合一され、ハリハラとなる。梵天の塔(御柱)の前で宇宙の変遷(成劫、住劫、壞劫、空劫)を知り、彼がブラフマンとなる未来を示される。やがて東南アジアをへて縄文時代の日本に辿り着く。出雲から諏訪へ移動し、御柱と出会う。

これがあらすじである。最後には宇宙船と麒麟が衝突し、麒麟の角に宇宙船の磁気テープが引っかかる。これが過去の孔子が手に入れる。時空が入り乱れ、荒唐無稽な物語が展開される。この作者は大変な勉強家(何でも屋かも知れないが。)で随所に論語、リグ・ヴェーダ、東南アジアの言い伝え、前述した沖縄が方言ち

りばめられ、物語の進行に彩りを与えている。

私が諸星大二郎の作品と最初に出会ったのは1978年で、今回紹介した「孔子暗黒伝」と共に「暗黒神話」(全1巻)を前後して購入した。どちらが先だったかは覚えていない。面白くて1~2年毎に繰り返し読んでいたら、驚愕する事実気がついた。「孔子暗黒伝」の最後のページは「暗黒神話」の最初のページに繋がっていた。しかし調べてみると「暗黒神話」の方が1977年(孔子暗黒伝は1978年初版)初版なので順序が逆になるが、両方読むと色々な繋がりが見えてとても面白い。「暗黒神話」もかなりの秀作で、完成度も高い作品です。

そのほかにも紹介したい作家がある。小山ゆうの「がんばれ元気」(全28巻)も良いですね。早くに母親を亡くし、プロボクサーである父親に育てられる。熾烈な試合を繰り返しながら成長して行き、やがて世界チャンピオンに挑戦する。ある試合で激しい殴り合いが続く。いわゆる我慢比べ。そのときのセコンドの「背負い込んだ物の大きさと決まる。」と言う言葉が感動的でした。結局元気が勝つのですが、負けた方が「ジョソイカンペオン」と叫んで、抗し切れなかった者の悲しさをにじませながら崩れ落ちていく様を描いています。殴り合いが続くストーリーですので、とても文科省推薦とは行かないでしょうが、清涼感漂う漫画である。終章：今まで元気のボクシング試合の度に心を痛めていた祖父母の元に元気が帰ってゆく場面。私は何時もここで泣いてしまうのです。漫画風情(こういう使い方は合っていますか。気持ちだけ受けて下さい。)に泣かされる自分が悔しい。

星野之宣氏はSFものを主に発表している。

最近では宗像教授伝奇考（8巻・続刊?）、宗像教授異考録（12巻・続刊?）にはまっている。両者とも考古学教授である主人公が過去の言い伝えや歴史を解き明かしていく物語である。その他にも海のものから山の物までと言うと失礼だが、多作で、ジャンルは広い。彼の作品はフランスでも紹介されている。岩明均の「寄生獣」（全10巻）は凄い。ハリウッドで映画化の話が出ている。「七夕の国」（全4巻）も良かった。最近ではヒストリエが刊行中、次の巻が発行され

るのが待ち遠しい。その他には、西岸良平氏の鎌倉ものがたり（26巻・続巻中）、三丁目の夕日（56巻続巻中）ほんのりとして楽しい。ゴルゴ13（155巻・続刊中）はあまりにも有名、色々ホットな政治的社会的問題を取り上げる事もあるので、某国大使館の講義により欠番になっている物もあるとの事。まだまだ紹介したいのはありますが、あまりに冗長になってもいけませんのでこの辺で終わります。最後まで読んで頂いて有り難うございます。

## お知らせ

### 暴力団追放に関する相談窓口

暴力団に関するすべての相談については、警察ではもちろんのこと、当県民会議でも応じており、専門的知識や経験を豊富に有する暴力追放相談委員が対応方針についてアドバイスしています。

暴力団の事でお困りの方は一人で悩まず警察や当県民会議にご相談下さい。

●暴力団に関する困り事・相談は下記のところへ

受付 月曜日～金曜日（ただし、祝祭日は除きます）

午前10時00分～午後5時00分

TEL (098) 868 - 0893 なくそうヤクザ 862 - 0007 スリーオーセブン

FAX (098) 869 - 8930 (24時間対応可)

電話による相談で不十分な場合は、面接によるアドバイスを行います。

「暴力団から不当な要求を受けてお困りの方は

.....悩まずに今すぐご相談を（相談無料・秘密厳守!）」

財団法人 暴力団追放沖縄県民会議